

## 第8回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2021年11月～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を26日発表しました。

調査は、アメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国、タイの6カ国において、各国約1,000人の回答を得ました。アメリカ、イギリス、フランス、韓国は電話調査、中国、タイは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回この6カ国で行っています。ただし、前回は新型コロナウイルス感染拡大の影響でイギリスでの調査ができませんでした。主な調査結果は以下の通りです。

### 日本に対する好感度、中国で大幅低下

- ・日本に対する好感度はタイ93.4%、アメリカ79.0%、フランス78.1%、イギリス73.3%。前回と比べると、タイは3.8ポイント上昇。中国は前回より13.4ポイント減の26.3%、韓国は0.1ポイント減の31.2%。（資料編1巻 図表1）
- ・アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、イギリスは日本、アメリカ、フランス、タイの順に、フランスは日本、アメリカ、イギリス、タイ、韓国の順に50%以上の好感度。（資料編1巻 図表1）
- ・中国はフランス、タイの順に、韓国はアメリカ、イギリス、フランス、タイの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国、中国の順に50%以上の好感度。（資料編1巻 図表1）
- ・前回からの変化を見ると、中国は韓国、タイ、フランスに対する好感度が10ポイント前後低下した。前回対象6カ国すべてに対して低下したタイは、今回は上昇に転じた。また、アメリカに対する好感度はフランス、タイ、韓国で10ポイント以上上昇した。（資料編1巻 図表1）

2022年2月26日  
公益財団法人 新聞通信調査会

## 日本についての報道、関心はタイを除き軒並み低下

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 80.9%、韓国で 64.5%となった。以下、フランス、中国ともに 51.7%、アメリカ 50.9%、イギリス 29.4%。フランスは前回から 15.9 ㊦の低下。中国 (7.4 ㊦)、韓国 (6.5 ㊦) でも前回から低下。(資料編 2 ㊦ 図表 2)

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位は 6 カ国で「科学技術」。2 位には、アメリカ、フランスは「国際協力や平和維持活動」、イギリスは「歴史と文化」、中国と韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「観光情報」が続いた。前回調査と比較すると、タイで過去 1 位を続けていた「観光情報」が初めて 2 位に下がり、「科学技術」が 1 位になった。(資料編 2 ㊦ 図表 3)

## 日本メディアの認知度は韓国が突出

・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。一方、「知っているものはない」はイギリスで 84.6%、アメリカで 81.7%、フランスで 77.0%。知っているメディアでは、「NHK(ワールド TV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で 1 位(複数回答)。(資料編 3 ㊦ 図表 4)

## 新聞の情報信頼度、中、タイで上昇

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、中国が 73.2 点で前回より 1.4 点の上昇、タイが 65.2 点で 3.8 点の上昇、韓国が 55.9 点で 0.1 点の低下、フランスが 55.8 点で 1.1 点の低下、アメリカが 53.2 点で 4.7 点の低下だった。イギリスは 48.1 点だった。昨年 9 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 67.7 点だった。(資料編 4 ㊦ 図表 5)

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6 カ国すべてで「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)が 70%以上となり、「気にしない」(「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計)を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが 89.7%で最も多く、次いでフランスで 86.0%。以下、アメリカ (78.1%)、韓国 (72.1%)、イギリス (71.3%)、中国 (70.5%)となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが 61.4%で最も多く、次いでイギリスが 43.8%。昨年 9 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が 47.0%、そのうち「いつも気にする」のは 12.6%だった。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国で 4.1 ㊦増加したが、中国で 6.2 ㊦、アメリカで 4.3 ㊦減少した。(資料編 4 ㊦ 図表 6)

## ニュース視聴の利用媒体、中国はネット、タイは SNS、他の 4 カ国はテレビが 1 位

・ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ、イギリス、フランス、韓国はテレビが 1 位、中国はインターネットのニュースサイトが 1 位、タイは SNS (facebook、twitter など) が 1 位 (複数回答)。2 位にはアメリカ、イギリス、フランスは新聞、中国は SNS、韓国はインターネットのニュースサイト、タイはテレビ。(資料編 5 頁 図表 7)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6 カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に中国、タイ、韓国は 50% を超えた。前回と比べると、「電子版のみ」はタイの 11.6 増をはじめ、5 カ国とも増加した。(資料編 5 頁 図表 8)

・ネットニュースや SNS を見るのに使用する機器は、6 カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が 1 位 (複数回答)。(資料編 5 頁 図表 9)

## マスク着用、欧米とアジアで差

・コロナ対策としてマスク着用の義務が解除されている時に、マスクを着用するかどうか尋ねたところ、「義務でなくてもマスクをつける」「ワクチンを打っていなかったらつける」「ワクチンを打っていても治療薬ができていなかったらつける」「心配なのでしばらくつける」と答えた人の合計は、タイで 96.1% と最も多く、次いで韓国で 93.4%、中国で 87.8% だった。一方、欧米ではイギリスで 73.0%、フランスで 67.3%、アメリカで 63.0% だった。調査は、アメリカ、イギリス、フランス、韓国では感染が再び拡大し始めた時期、タイでは感染が収束しつつある時期、中国では感染者がほとんどいないと発表されている時期に実施した。(資料編 6 頁 図表 10)

・「義務でなければつけない」はアメリカ (22.1%)、フランス (21.6%)、イギリス (19.2%) で 20% 前後と多く、「そもそもマスク着用は強制すべきでない」はアメリカ (12.8%)、フランス (9.0%) で 10% 前後と多かった。(資料編 6 頁 図表 10)

## 中、米、韓、経済より感染症対策重視が多数

・ 自国政府の新型コロナウイルス感染症対策を評価する際、感染症対策と経済対策のどちらを重視したか尋ねたところ、「感染症対策」（「感染症対策」と「どちらかと言えば感染症対策」と答えた人の合計）が中国で81.9%と最も多く、次いでアメリカが55.2%、韓国が53.0%だった。イギリス、タイは「感染症対策」が30%前後にとどまり、「どちらとも言えない」（イギリス60.8%、タイ53.8%）が半数を超えた。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「感染症対策」が72.1%を占めた。昨年度調査と比較すると、「感染症対策」はフランスで4.4ポイント増加したが、タイ（9.2ポイント）、韓国（4.7ポイント）、中国（3.7ポイント）、アメリカ（1.9ポイント）では減少した。（資料編7ページ 図表11）

・ 新型コロナウイルス感染症に対する自国政府の対応を、大変評価している場合は100点、全く評価していない場合は0点、どちらとも言えない場合を50点として点数をつけてもらったところ、中国が86.7点と最も高く、次いで韓国が63.9点、フランスが54.1点、アメリカが52.4点、タイが52.3点、イギリスが47.2点だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、日本政府に対する評価は40.8点だった。昨年度調査と比較すると、フランスで4.7点上昇したが、タイ（11.1点）、アメリカ（3.9点）、中国（2.1点）、韓国（1.1点）では低下した。（資料編7ページ 図表12）

## 調査の概要

### ●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
アメリカ	11月30日～12月5日	電話調査	SSRS	全国
イギリス	12月11日～24日	電話調査	IPSOS UK	全国
フランス	12月2日～13日	電話調査	CSA	全国
中国	12月2日～5日	面接調査	CRCリサーチセンター	北京、上海、広州、瀋陽、西安、成都、武漢、合肥、南京、青島
韓国	12月1日～9日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月15日～12月16日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、ウドーンターニー、ソンクラーク

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

### ●回収サンプルの構成

アメリカ	男性	569	56.4%	中国	男性	506	50.6%
	女性	439	43.6%		女性	494	49.4%
	10代(18-19歳)	15	1.5%		10代(18-19歳)	12	1.2%
	20歳代	103	10.2%		20歳代	239	23.9%
	30歳代	139	13.8%		30歳代	349	34.9%
	40歳代	181	18.0%		40歳代	218	21.8%
	50歳代	213	21.1%		50歳代	61	6.1%
	60歳代	182	18.1%		60歳代	118	11.8%
	70歳以上(70-99歳)	175	17.4%		70歳以上(70歳)	3	0.3%
合計	1,008	100.0%	合計	1,000	100.0%		
イギリス	男性	509	50.7%	韓国	男性	505	50.4%
	女性	494	49.3%		女性	496	49.6%
	10代(18-19歳)	35	3.5%		10代(19歳)	10	1.0%
	20歳代	106	10.6%		20歳代	123	12.3%
	30歳代	144	14.4%		30歳代	138	13.8%
	40歳代	166	16.6%		40歳代	181	18.1%
	50歳代	187	18.6%		50歳代	228	22.8%
	60歳代	147	14.7%		60歳代	216	21.6%
	70歳以上(70-98歳)	218	21.7%		70歳以上(70-80歳)	105	10.5%
合計	1,003	100.0%	合計	1,001	100.0%		
フランス	男性	496	49.6%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	505	50.4%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	15	1.5%		10代(18-19歳)	40	4.0%
	20歳代	141	14.1%		20歳代	240	24.0%
	30歳代	216	21.6%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	150	15.0%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	152	15.2%		50歳代	192	19.2%
	60歳代	143	14.3%		60歳代	34	3.4%
	70歳以上(70-99歳)	184	18.4%		70歳以上(70-73歳)	4	0.4%
合計	1,001	100.0%	合計	1,000	100.0%		

●質問一覧

質問	選択肢
<b>問 1.</b> あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ	1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない
<b>問 2.</b> あなたは、日本のメディアをご存知ですか。(回答はいくつでも)	1 NHK (ワールドTV、ラジオジャパンなど) 2 共同通信社 3 時事通信社 4 日本の新聞 (朝日、毎日、読売、日経、産経など) 5 知っているものはない
<b>問 3.</b> あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)	1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない
<b>問 4.</b> あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報 (8) 日本の皇族	1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい
<b>問 5.</b> あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)	1 新聞 (紙面) 2 新聞 (電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、twitter など) 7 雑誌
<b>問 6.</b> あなたは、インターネットのニュースや SNS (facebook、twitter など) を見る時に、何を使いますか。(回答はいくつでも)	1 パソコン 2 スマートフォン・携帯電話 3 タブレット (例: iPad) 4 その他
<b>問 7.</b> あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所 (報道機関名などの配信元) を気にしますか。(回答は1つ)	1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない
<b>問 8.</b> 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼していない場合は 0 点とし、普通の場合を 50 点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。	
<b>問 9.</b> あなたは、新型コロナウイルス感染症に対する自国の政府の対応をどう思いますか。点数でお答えください。大変評価している場合は 100 点、全く評価していない場合は 0 点とし、どちらとも言えない場合を 50 点としてお答えください。	
<b>問 10.</b> 問 9 で得点をつける際に、あなたは、感染症対策と経済対策のどちらを重視しましたか。(回答は1つ)	1 感染症対策 2 どちらかと言えば感染症対策 3 どちらとも言えない 4 どちらかと言えば経済対策 5 経済対策

質問	選択肢
<p>問 11. あなたは、コロナの感染対策としてのマスク着用の義務が解除されている時は、マスクの着用はどのようにしますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 そもそもマスク着用は強制すべきでない  2 義務でなければつけない  3 ワクチンを打っていなかったらつける  4 ワクチンを打っていても治療薬ができていなかったらつける  5 心配なのでしばらくつける</p>

## 第8回 諸外国における対日メディア世論調査

2022年2月26日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル1階

電話 03-3593-1081

# 資料編

## 日本に対する好感度、中国で大幅低下

- ・ 日本に対する好感度はタイ 93.4%、アメリカ 79.0%、フランス 78.1%、イギリス 73.3%。前回と比べると、タイは3.8 ㊦上昇。中国は前回より13.4 ㊦減の26.3%、韓国は0.1 ㊦減の31.2%。
- ・ アメリカはイギリス、フランス、日本、タイの順に、イギリスは日本、アメリカ、フランス、タイの順に、フランスは日本、アメリカ、イギリス、タイ、韓国の順に50%以上の好感度。
- ・ 中国はフランス、タイの順に、韓国はアメリカ、イギリス、フランス、タイの順に、タイは日本、イギリス、フランス、アメリカ、韓国、中国の順に50%以上の好感度。
- ・ 前回からの変化を見ると、中国は韓国、タイ、フランスに対する好感度が10 ㊦前後低下した。前回対象6カ国すべてに対して低下したタイは、今回は上昇に転じた。また、アメリカに対する好感度はフランス、タイ、韓国で10 ㊦以上上昇した。

図表1 各国間の好感度（問1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位 2位 3位								
		対 象 国								
【今回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	79.0	*	83.9	79.6	31.0	47.0	64.7		
	英	73.3	66.1	*	65.8	29.2	40.3	61.9		
	仏	78.1	69.7	67.7	*	32.5	57.1	63.1		
	中国	26.3	29.0	46.7	62.5	*	43.6	54.7		
	韓国	31.2	81.0	75.1	70.1	23.0	*	58.4		
	タイ	93.4	85.6	91.5	86.8	57.4	72.9	*		

		対 象 国								
【今回-第7回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	-0.6	*	-3.1	-3.7	2.0	0.2	2.3		
	英	*	*	*	*	*	*	*		
	仏	0.3	17.5	-0.9	*	1.5	-3.7	-0.6		
	中国	-13.4	2.4	0.7	-8.1	*	-10.4	-8.6		
	韓国	-0.1	11.9	6.0	6.5	-3.0	*	5.7		
	タイ	3.8	12.9	9.7	9.2	1.3	8.2	*		

		対 象 国								
【第7回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	79.6	*	87.0	83.3	29.0	46.8	62.4		
	仏	77.8	52.2	68.6	*	31.0	60.8	63.7		
	中国	39.7	26.6	46.0	70.6	*	54.0	63.3		
	韓国	31.3	69.1	69.1	63.6	26.0	*	52.7		
	タイ	89.6	72.7	81.8	77.6	56.1	64.7	*		

		対 象 国								
【第7回-第6回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	-3.2	*	1.9	4.2	-14.6	0.1	-2.7		
	仏	2.9	-5.8	-3.4	*	-7.3	8.3	5.6		
	中国	6.2	-19.5	-27.3	-16.5	*	9.0	-8.0		
	韓国	8.6	4.9	0.3	-4.8	-5.9	*	-6.3		
	タイ	-6.1	-14.1	-7.4	-6.2	-13.8	-8.8	*		

		対 象 国								
【第6回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	82.8	*	85.1	79.1	43.6	46.7	65.1		
	英	68.1	63.1	*	69.6	43.0	33.9	56.5		
	仏	74.9	58.0	72.0	*	38.3	52.5	58.1		
	中国	33.5	46.1	73.3	87.1	*	45.0	71.3		
	韓国	22.7	64.2	68.8	68.4	31.9	*	59.0		
	タイ	95.7	86.8	89.2	83.8	69.9	73.5	*		

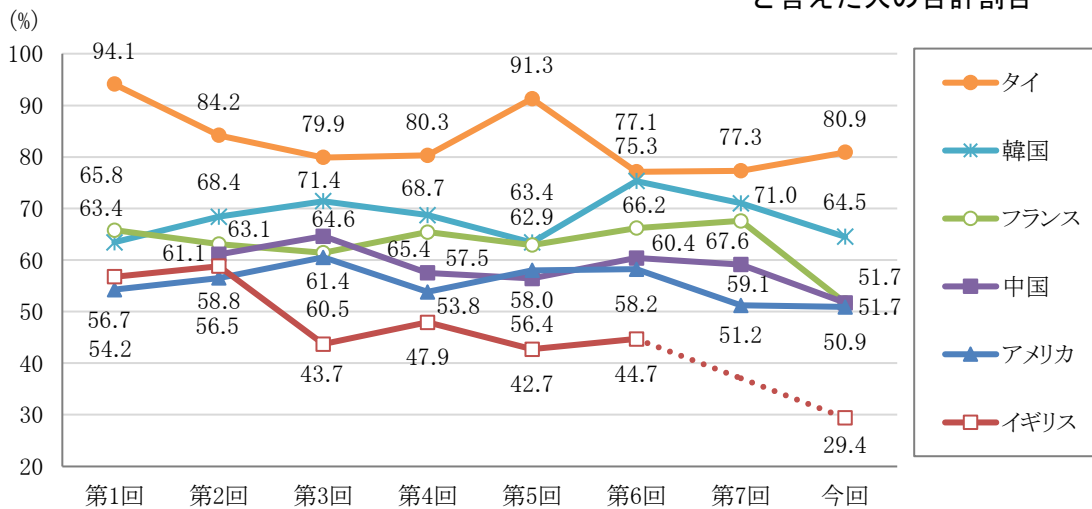
		対 象 国								
【第6回-第5回】		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	-2.9	*	1.0	1.7	-10.8	-4.8	-3.8		
	英	6.1	1.4	*	1.5	-2.5	-0.5	1.2		
	仏	-4.2	1.9	-2.7	*	-5.5	-3.9	-7.2		
	中国	-0.4	-13.4	-9.0	0.4	*	8.2	4.1		
	韓国	-9.3	-8.1	-3.8	-3.7	3.3	*	2.8		
	タイ	-0.8	2.0	-0.3	-0.7	18.3	3.8	*		



# 日本についての報道、関心はタイを除き軒並み低下

- 日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで80.9%、韓国で64.5%となった。以下、フランス、中国ともに51.7%、アメリカ50.9%、イギリス29.4%。フランスは前回から15.9%の低下。中国（7.4%）、韓国（6.5%）でも前回から低下。
- 日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は6カ国で「科学技術」。2位には、アメリカ、フランスは「国際協力や平和維持活動」、イギリスは「歴史と文化」、中国と韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「観光情報」が続いた。前回調査と比較すると、タイで過去1位を続けていた「観光情報」が初めて2位に下がり、「科学技術」が1位になった。

図表2 日本が報道されると関心を持つか（問3）—「とても関心がある」「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表3 メディアに期待する報道内容（問4）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
アメリカ	科学技術 79.5 (82.3/84.3) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 70.0 (71.2/74.5) 2←2←2	政治、経済、外交政策 65.7 (66.1/70.1) 3←3←3	観光情報 60.2 (62.3/64.7) 4←5←4	歴史と文化 60.1 (62.6/64.3) 5←4←5	生活様式や食文化 56.2 (57.5/63.5) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 43.2 (44.1/48.9) 7←7←7	日本の皇族 34.5 (36.4/41.0) 8←8←8
イギリス	科学技術 55.8 (*59.2) 1←*←1	歴史と文化 45.0 (*47.4) 2←*←4	国際協力や平和維持活動 43.6 (*51.7) 3←*←2	生活様式や食文化 43.0 (*47.7) 4←*←3	政治、経済、外交政策 37.2 (*41.1) 5←*←6	観光情報 36.4 (*46.9) 6←*←5	ファッション、アニメ、音楽 25.3 (*29.4) 7←*←7	日本の皇族 17.5 (*25.9) 8←*←8
フランス	科学技術 46.6 (47.8/45.0) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 36.0 (35.8/35.5) 2←4←4	歴史と文化 35.5 (40.5/36.0) 3←2←3	生活様式や食文化 35.1 (36.8/37.2) 4←3←2	政治、経済、外交政策 34.5 (33.4/31.3) 5←5←6	観光情報 28.5 (31.6/31.9) 6←6←5	ファッション、アニメ、音楽 21.2 (20.9/16.1) 7←7←7	日本の皇族 9.1 (6.7/8.9) 8←8←8
中国	科学技術 71.5 (70.2/72.7) 1←1←1	政治、経済、外交政策 58.8 (64.5/54.8) 2←2←5	観光情報 57.8 (63.3/72.5) 3←3←2	生活様式や食文化 57.7 (63.3/63.2) 4←3←4	ファッション、アニメ、音楽 56.9 (62.2/64.0) 5←5←3	歴史と文化 50.6 (53.7/54.0) 6←6←6	国際協力や平和維持活動 44.9 (45.1/37.4) 7←7←8	日本の皇族 34.8 (37.7/41.9) 8←8←7
韓国	科学技術 81.1 (84.9/81.1) 1←1←1	政治、経済、外交政策 76.4 (81.3/74.2) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 72.7 (76.3/70.1) 3←3←3	観光情報 54.5 (54.4/39.2) 4←6←6	歴史と文化 52.8 (62.9/55.4) 5←4←4	生活様式や食文化 47.9 (55.4/47.4) 6←5←5	ファッション、アニメ、音楽 35.3 (38.1/30.8) 7←7←7	日本の皇族 23.2 (28.4/27.9) 8←8←8
タイ	科学技術 90.9 (85.4/83.3) 1←2←2	観光情報 89.5 (86.5/92.5) 2←1←1	国際協力や平和維持活動 82.6 (79.4/80.1) 3←3←5	政治、経済、外交政策 82.6 (78.3/82.0) 3←5←4	生活様式や食文化 82.1 (79.0/82.4) 5←4←3	歴史と文化 78.0 (76.6/75.3) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 70.6 (62.9/66.0) 7←7←8	日本の皇族 64.4 (61.3/73.4) 8←8←7

※（ ）内は、左から第7回調査、第6回調査の結果

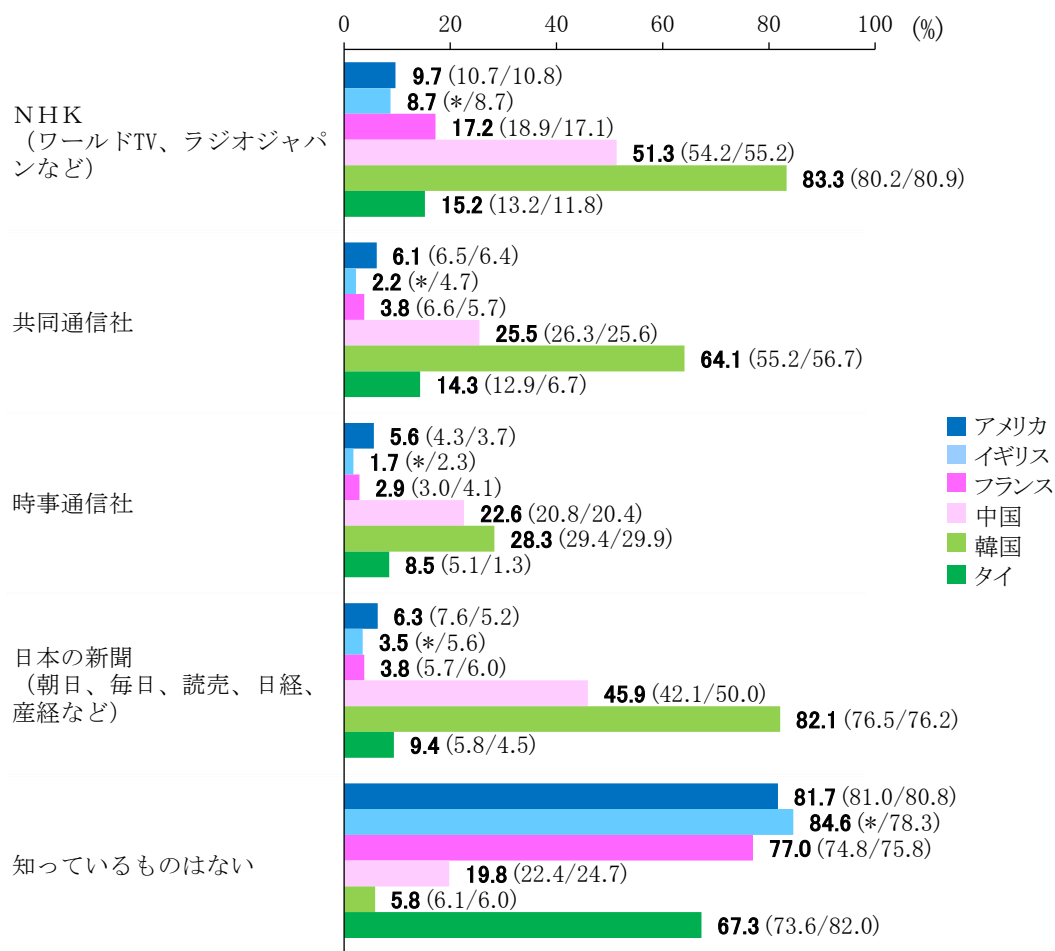
※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第7回調査の順位、第6回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

# 日本メディアの認知度は韓国が突出

- 日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。一方、「知っているものはない」はイギリスで 84.6%、アメリカで 81.7%、フランスで 77.0%。知っているメディアでは、「NHK(ワールドTV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で1位(複数回答)。

図表4 日本のメディアの認知度(複数回答)(問2)

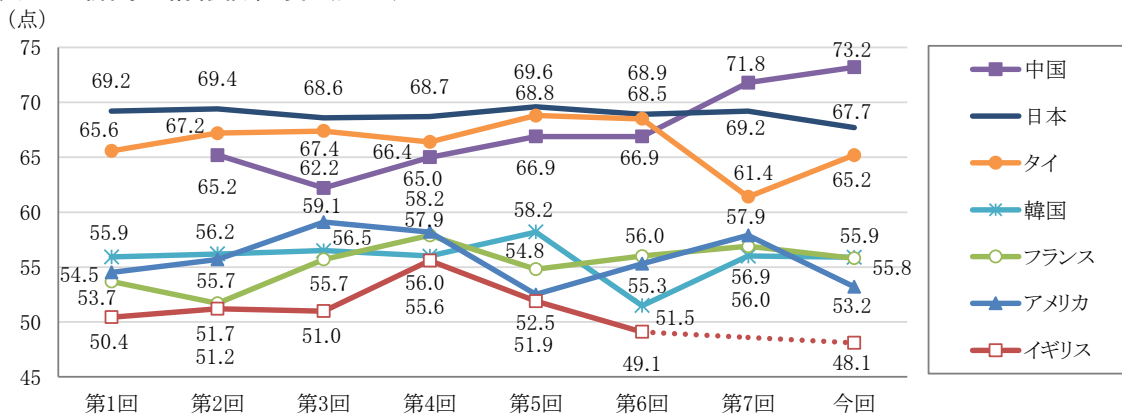


※ ( ) 内は左から第7回、第6回調査結果

# 新聞の情報信頼度、中、タイで上昇

- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、中国が73.2点で前回より1.4点の上昇、タイが65.2点で3.8点の上昇、韓国が55.9点で0.1点の低下、フランスが55.8点で1.1点の低下、アメリカが53.2点で4.7点の低下だった。イギリスは48.1点だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は67.7点だった。
- ・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）が70%以上となり、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが89.7%で最も多く、次いでフランスで86.0%。以下、アメリカ（78.1%）、韓国（72.1%）、イギリス（71.3%）、中国（70.5%）となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが61.4%で最も多く、次いでイギリスが43.8%。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が47.0%、そのうち「いつも気にする」のは12.6%だった。前回調査と比較すると、「気にする」の割合は韓国で4.1%増加したが、中国で6.2%、アメリカで4.3%減少した。

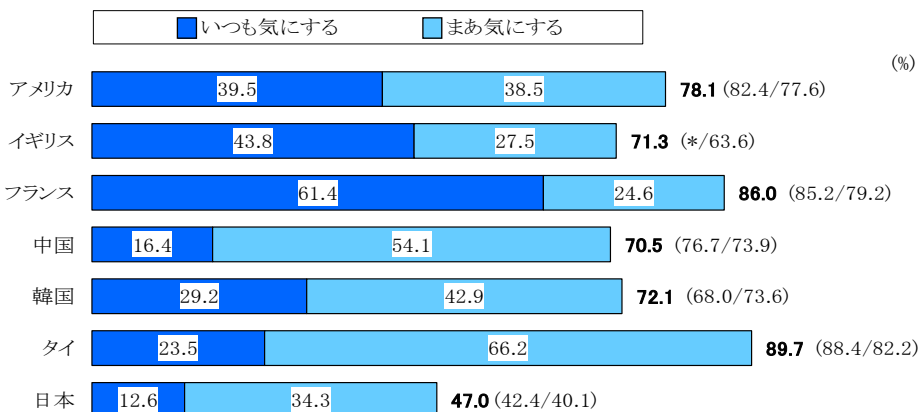
図表5 新聞の情報信頼度（問8）



注：アメリカは0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

図表中の日本については「第14回メディアに関する全国世論調査（2021年）」より参考として表記。  
「第14回メディアに関する全国世論調査（2021年）」は2021年9月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,047人（有効回収率60.9%）から回答を得た。以下、同じ。

図表6 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問7）



※棒グラフ右外の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計値  
( )内は、左から第7回調査、第6回調査の結果

# ニュース視聴の利用媒体、中国はネット、タイはSNS、他の4カ国はテレビが1位

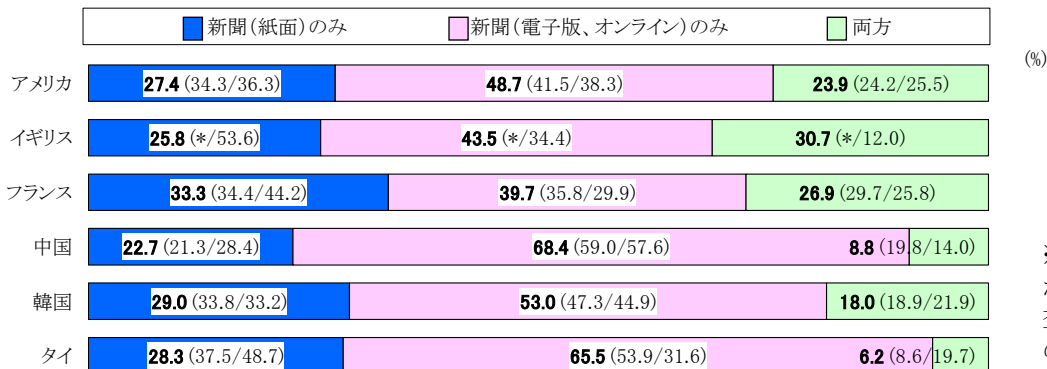
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ、イギリス、フランス、韓国はテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位、タイはSNS (facebook、twitter など) が1位 (複数回答)。2位にはアメリカ、イギリス、フランスは新聞、中国はSNS、韓国はインターネットのニュースサイト、タイはテレビ。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に中国、タイ、韓国は50%を超えた。前回と比べると、「電子版のみ」はタイの11.6ポイント増をはじめ、5カ国とも増加した。
- ・ ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位 (複数回答)。

図表7 ニュース視聴の利用媒体 (複数回答) (問5) (%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	テレビ 70.4 (70.5/70.8)	新聞 54.0 (52.0/51.5)	インターネットのニュースサイト 53.0 (54.7/51.9)	SNS (facebook、twitterなど) 43.9 (47.0/43.1)	ラジオ 39.6 (37.9/34.2)	雑誌 16.9 (16.2/18.3)
イギリス	テレビ 68.9 (* / 71.3)	新聞 61.0 (* / 38.0)	ラジオ 48.3 (* / 27.5)	SNS (facebook、twitterなど) 44.7 (* / 19.8)	インターネットのニュースサイト 32.8 (* / 34.3)	雑誌 13.6 (* / 3.5)
フランス	テレビ 75.6 (83.0/78.9)	新聞 68.6 (76.5/68.4)	ラジオ 63.9 (66.1/63.8)	インターネットのニュースサイト 50.1 (54.6/48.8)	SNS (facebook、twitterなど) 45.5 (42.0/34.9)	雑誌 31.0 (41.9/35.8)
中国	インターネットのニュースサイト 85.1 (80.1/82.1)	SNS (facebook、twitterなど) 73.4 (70.0/72.6)	テレビ 67.0 (70.1/73.7)	新聞 39.6 (48.0/51.4)	ラジオ 17.1 (16.4/17.0)	雑誌 10.1 (11.7/17.3)
韓国	テレビ 68.9 (72.4/65.0)	インターネットのニュースサイト 65.6 (61.1/61.8)	新聞 33.8 (33.4/30.1)	SNS (facebook、twitterなど) 26.9 (26.4/20.7)	ラジオ 15.5 (12.6/16.2)	雑誌 3.8 (5.0/4.3)
タイ	SNS (facebook、twitterなど) 91.0 (86.0/75.2)	テレビ 83.4 (87.8/89.3)	インターネットのニュースサイト 49.2 (47.3/21.7)	ラジオ 14.9 (6.5/4.9)	新聞 11.3 (15.2/19.3)	雑誌 1.7 (3.0/3.2)

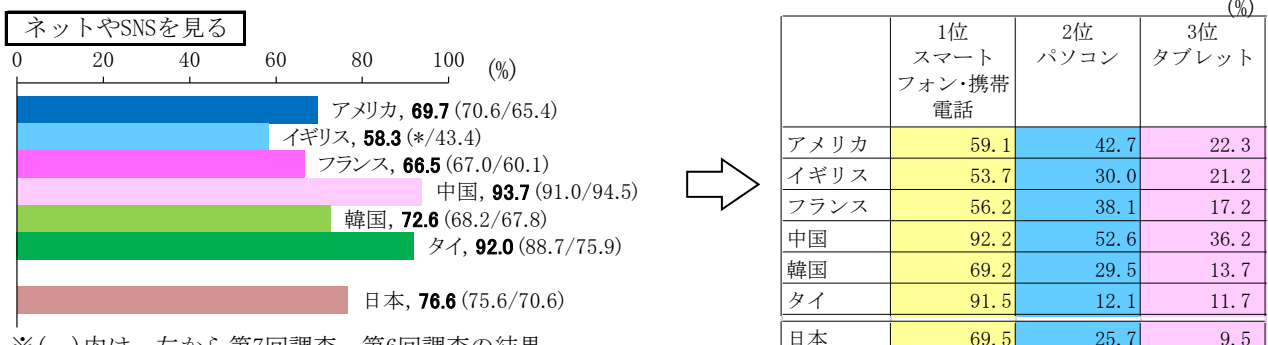
※( )内は、左から第7回調査、第6回調査の結果

図表8 新聞を紙、電子版のどちらで読むか (問5)



※( )内は、左から第7回調査、第6回調査の結果

図表9 ネットニュースやSNSを見る割合と使用機器 (複数回答) (問5、問6) (%)

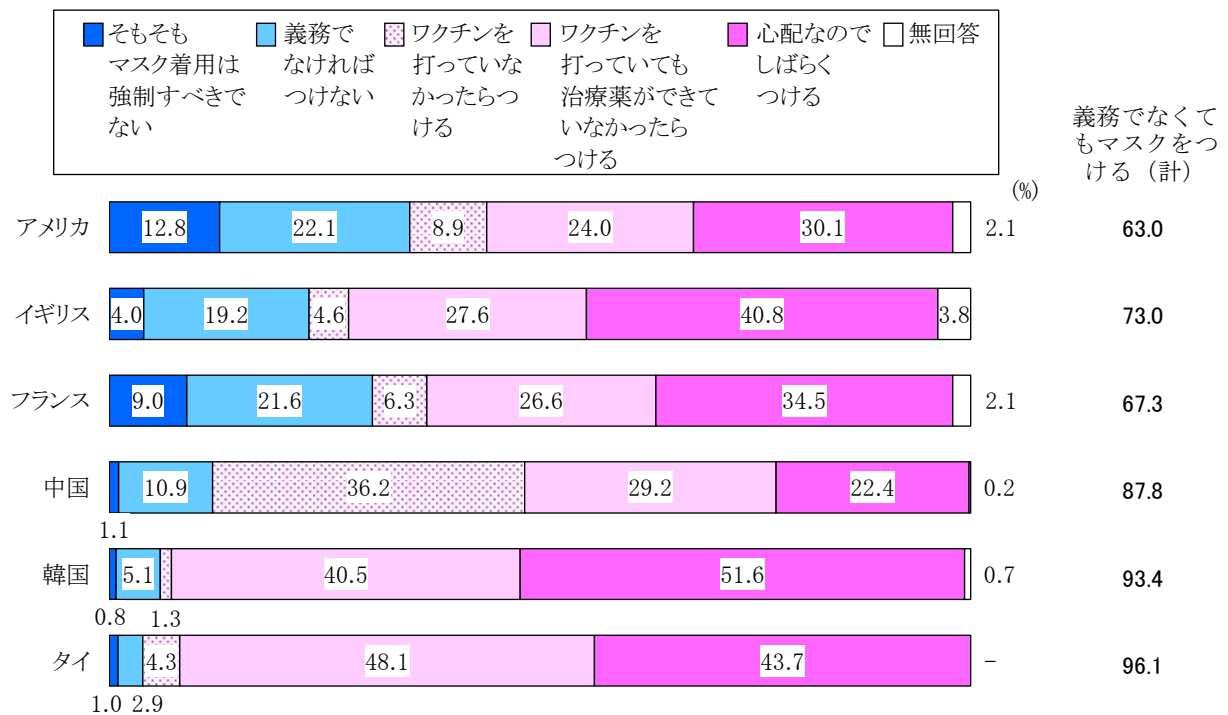


※( )内は、左から第7回調査、第6回調査の結果

## マスク着用、欧米とアジアで差

- ・ コロナ対策としてマスク着用の義務が解除されている時に、マスクを着用するかどうか尋ねたところ、「義務でなくてもマスクをつける」（「ワクチンを打っていないからつける」「ワクチンを打っていても治療薬ができていなかったらつける」「心配なのでしばらくつける」と答えた人の合計）は、タイで96.1%と最も多く、次いで韓国で93.4%、中国で87.8%だった。一方、欧米ではイギリスで73.0%、フランスで67.3%、アメリカで63.0%だった。調査は、アメリカ、イギリス、フランス、韓国では感染が再び拡大し始めた時期、タイでは感染が収束しつつある時期、中国では感染者がほとんどいないと発表されている時期に実施した。
- ・ 「義務でなければつけない」はアメリカ（22.1%）、フランス（21.6%）、イギリス（19.2%）で20%前後と多く、「そもそもマスク着用は強制すべきでない」はアメリカ（12.8%）、フランス（9.0%）で10%前後と多かった。

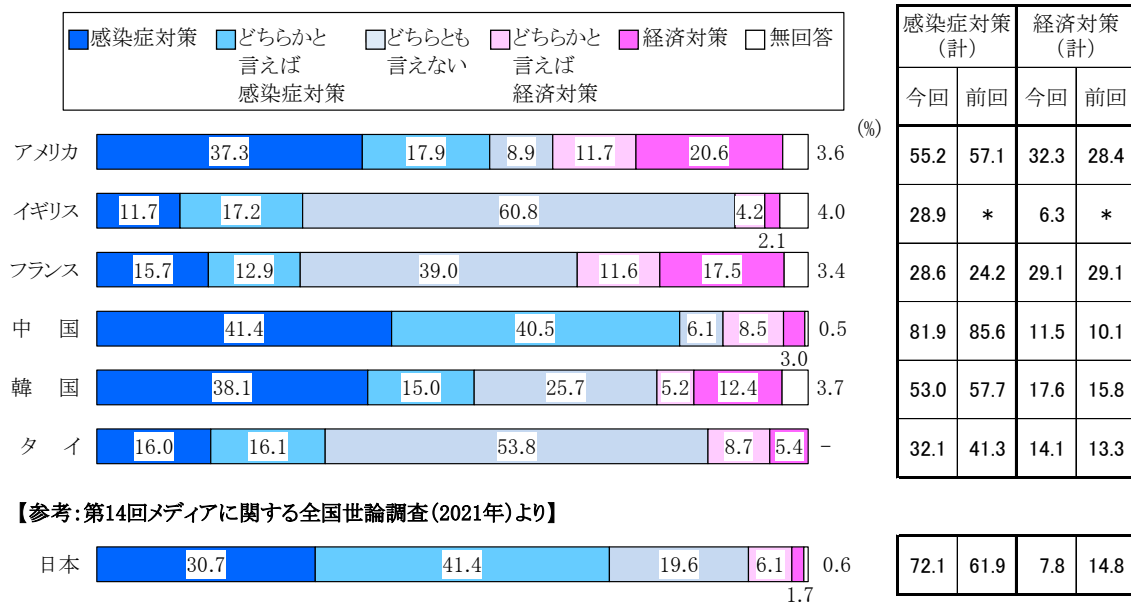
図表 10 マスクの着用（問 11）



## 中、米、韓、経済より感染症対策重視が多数

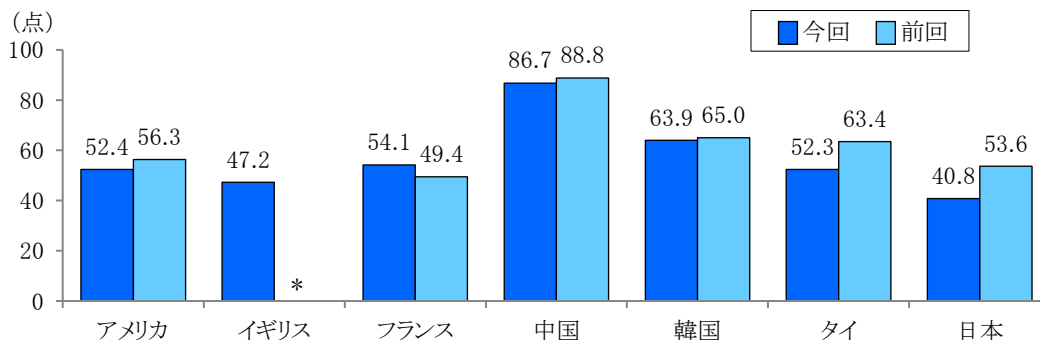
- ・ 自国政府の新型コロナウイルス感染症対策を評価する際、感染症対策と経済対策のどちらを重視したか尋ねたところ、「感染症対策」（「感染症対策」と「どちらかと言えば感染症対策」と答えた人の合計）が中国で81.9%と最も多く、次いでアメリカが55.2%、韓国が53.0%だった。イギリス、タイは「感染症対策」が30%前後にとどまり、「どちらとも言えない」（イギリス60.8%、タイ53.8%）が半数を超えた。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「感染症対策」が72.1%を占めた。昨年度調査と比較すると、「感染症対策」はフランスで4.4ポイント増加したが、タイ（9.2ポイント）、韓国（4.7ポイント）、中国（3.7ポイント）、アメリカ（1.9ポイント）では減少した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対する自国政府の対応を、大変評価している場合は100点、全く評価していない場合は0点、どちらとも言えない場合を50点として点数をつけてもらったところ、中国が86.7点と最も高く、次いで韓国が63.9点、フランスが54.1点、アメリカが52.4点、タイが52.3点、イギリスが47.2点だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、日本政府に対する評価は40.8点だった。昨年度調査と比較すると、フランスで4.7点上昇したが、タイ（11.1点）、アメリカ（3.9点）、中国（2.1点）、韓国（1.1点）では低下した。

図表 11 感染症対策と経済対策のどちらを重視したか（問10）



【参考：第14回メディアに関する全国世論調査(2021年)より】

図表 12 政府のコロナ対応の評価（問9）—平均点



注：アメリカは0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。